

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和8年1月30日

事業所名:障害児者デイサービス だんだん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準のスペースは確保できているが、利用人数が多い日や車いすの大きさ等により十分ではない時がある。無駄な物は片付け、限られた空間を安全に広く使えるようにしている。	はい…10名 どちらともいえない…2名 いいえ…0名 わからない…0名	どちらともいえないという意見がある。物品の配置の工夫をした。整理整頓しスペースを確保した。
	2 職員の適切な配置	指定基準を満たしている。安全確保のため多めに職員を配置している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	長期休暇等利用人数が多い時や医療的ケア児が多い時には職員を多く配置した。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリー構造である。エレベーターを設置している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今の環境を維持していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	快適に過ごしてもらえるように清潔、清掃、消毒には十分に注意し、適切な生活空間を確保している。 毎日清掃・消毒を実施している。	はい…11名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…1名	快適に過ごしてもらえるように清潔、清掃、消毒には十分に注意している。感染症対策に努めている。 利用中、部屋に行くことがほぼないためわからないという意見があった。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員間でミーティングを行っている。ヒヤリハットや申し送りノートを活用し、情報共有できるようにしている。		今後も継続して実施していく。多くの職員に積極的にミーティングに参加してもらう機会を作り、業務改善に努めていきたい。申し送りノートを活用し、ミーティングの内容を共有している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	できていない。		今後検討していきたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月内部研修を実施している。外部研修にも参加している。		内部研修・外部研修は今後も継続していく。研修報告会を開き、研修を行った職員が研修内容の報告を行い、全体で情報共有し、他の職員にも資質向上の機会を提供していきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	できている。契約時にアセスメントを行い、必要な内容を聞き取っている。また、定期的なモニタリングを実施し、職員と保護者・児童の意見をすりあわせている。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じ、個別、集団の視点から計画を作成している。月ごとにレク計画を考え、様々な方面から支援している。		今後も継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 (継続)	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	できている。それぞれの児童に応じた支援内容を具体的に記載している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って、当日の体調に合わせた支援を実施している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で個々の状況を共有し、プログラムを立案している。それぞれの児童に担当者を割り振り、考えられた案を元にチーム全体で立案している。		今後も継続して実施していく。新しいプログラムを積極的に取り入れていきたい。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用時間によってプログラムを考えている。安全に過ごせるように配慮し、学校ではできないようなプログラムを考え、参加できるようにしている。		今後も継続して実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別性を重視し活動プログラムを考えている。機能訓練士とも相談しながら工夫している。季節や行事にあった内容のプログラムを工夫して取り入れている。色々な媒体から情報を取得し、創意工夫している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日ホワイトボードに役割分担や支援内容を記入し、職員間で確認している。		今後も継続して実施していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	随時、気づいたことがあれば共有している。日々の記録や申し送り等で確認し、振り返る。必要があればミーティングを実施する。		今後も継続して実施していく。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	細かく記録し、次の支援につなげている。記録や申し送りは、いつでも確認できるようにしている。ダブルチェックを徹底している。		今後も継続して実施していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月ごとや必要時にモニタリングを行い、見直しを行っている。		今後も継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者や児童発達支援管理責任者が参加している。		今後、看護師や保育士にも参加してもらえるようにしていきたい。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	関係機関や保護者と連絡を取り合い可能な範囲で連携している。送迎等直接出会った時間も活用し情報共有出来るように努力している。		今後も継続して実施していく。 関係機関との連携をより充実させていく。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	事前に必ず主治医を確認し、緊急時の連絡体制を保護者と相談している。協力医療機関とも連絡がとれる体制を整えている。主治医からの指示書を基に保護者からの聞き取りを行っている。校医と連絡を取ったり、入退院時にはサマリーを活用している。		今後も継続して実施していく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や保護者との情報共有やサポートファイルを活用し支援内容等の情報共有ができる。また、担当者会議や実習等でも情報共有している。		担当者会議やサポートファイルの活用を積極的に行い、情報共有できるようにしていきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	同法人内の事業所に移行する場合は十分な情報提供ができる。他事業所を利用する場合は、担当者会議や見学等を行い情報共有している。		今後も相談支援事業所や他事業所とも積極的に連携するようにしていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関と連携している。		研修の案内はあるが、開所している時間帯と重なると参加しにくい。今後研修に参加する機会を増やしていきたい。 オンライン研修等も活用していきたい。
	7 児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	できていない。	はい…1名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…11名	このような機会があればいいと思うので、今後検討していく。 近隣の小学校との関係性を築いていきたいが、感染症のおそれもあり実施するまでには至らなかった。中学校のトライアル受け入れなども検討したい。特に求めていない」という意見もあった。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。		今後地域住民にも参加してもらえるような行事(夏祭り等)を考えていきたい。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、モニタリング時に説明を行っている。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	児童発達支援管理責任者が説明している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない。	はい…2名 どちらともいえない…2名 いいえ…2名 わからない…6名	保護者から相談を受けた際には個別に対応している。今後ペアレント・トレーニング等の研修に参加したい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	モニタリングでの聞き取りや、連絡帳や送迎時に保護者に報告をしたり、必要時適宜連絡をとるようしている。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があれば職員間で話し合い、助言などを考へている。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。保護者同士の連携はできていると思う。	はい…1名 どちらともいえない…3名 いいえ…2名 わからない…6名	要望があれば今後検討していきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情に対する対応体制や担当窓口を説明している。苦情はほとんどないが、あった場合はその都度迅速に対応している。要望には出来る範囲で対応している。	はい…9名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…3名	今後も継続して実施していく。 ミーティングや申し送りノート等を利用し職員間で適切に把握できるように努める。LINE開設によりいつでも苦情を聞き取れるよう窓口を広げている。より迅速な対応ができるよう努めていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者の状況に合わせて配慮している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	年1回ではあるが発行している。行事予定等は毎月発信している。SNSの利用、メール配信を導入している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	SNSやメール配信の利用は今後も継続して実施していく。 会報やSNSを活用し、活動内容等の報告ができるようにしていきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	できている。個人情報使用同意書をいただいている。個人情報の取り扱いには十分に注意している。	はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も継続して実施していく。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは策定している。事業所内でいつでもみれるところにおいている。マニュアルをもとに研修や訓練の実施を行っている。職員には周知できているが、保護者にまで周知できていない。必要な内容は伝えているが、マニュアルを全て説明できていない。	はい…8名 どちらともいえない…1名 いいえ…0名 わからない…3名	保護者への周知方法(契約時に説明する、ホームページにアップする等)は今後検討していきたい。わかりやすい避難の手順書を全体と個別で作成してみる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上避難訓練を実施している。年間計画の中で予定し、月間計画等で実施することを周知している。	はい…8名 どちらともいえない…1名 いいえ…0名 わからない…3名	今後も継続して実施していく。今後は様々な事態を想定した訓練を行う予定にしている。利用者ごとの対応の仕方をシミュレーションし、訓練をする。 避難訓練を実施している時に利用していなければ行われている実感がないという意見があった。 SNS等で避難訓練の様子を伝えていく。
	3 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等の適切な対応	法人内の研修で必ず虐待防止についての研修を行っている。		今後も継続して実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	車椅子のベルトやテーブル装着等生活上必要な拘束は同意書をもらっている。それ以外で現在まで身体拘束を行う事例がありません。必要な場合は適切に対応できるようにしている。		今後身体拘束を行う事例が発生した場合は、組織的に決定し十分な説明、了解を得た上で行うようとする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から聞き取りを行い、調理担当者とも情報共有している。食事提供時、おやつ提供時にも再度のチェックも行っている。		今後も継続して実施していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底	事例集作成し、職員が閲覧できるようにしている。ミーティングで事例検討も行い職員間で共有。再発防止Ⅱに努めた。		今後も継続して実施していく。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい…11名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…1名	話せるなら教えてほしいという声があつたが、ほぼ全員が楽しみにしている、満足しているという意見であった。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい…12名 どちらともいえない…0名 いいえ…0名 わからない…0名	今後も楽しみに来れる場所、安心・安全に過ごせる場所、また行きたいと思ってもらえる場所を目指し、満足してもらえるように努力していく。